

令和6年度学校教育評価（関係者評価）集計結果

令和7年3月10日（月）

評価内容 ＜豊かな心と健やかな体＞	☆学校の取り組みには、「努力や工夫」が見られ、且つ「成果」が上がっているか。	
	評価	
① 未来を作る活動の推進（自分・学校づくり）	3. 67 4・4・3・3・3・5 (6名 計22)	
② 未来を作る活動の推進（二中魂を磨く）		
③ 認め合い・高め合える集団づくり		
④ 家庭・地域との連携と充実		

- ① についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
 - ・生徒は自分やまわりをよくしているように努力し、自分を向上させているとしている。（①、②について）
 - ・学校行事等参加し、生徒の成長を感じることができて良かったです。
 - ・「学校」という学びの中で、教える（教師）と学ぶ、活動する（生徒）、そして子供と学校を育て、支える（保護者）が常に目標を共有し、努力していくことが大事であり、ほぼ目標を達成している。
- ② についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
 - ・二中魂に関して、各行事の取組を見たり、多田ヶ嶺等の発信を目にしたりとすることで、かなり浸透してきたように感じます。
 - ・「二中魂」とは何なのか？学校生活がクラスメイトやチームメイトとの協働生活を通して、自己の能力の向上であり、それらが結果として、達成、勝利したときの喜びであると思います。そのプロセスの大切さが理解されていると思います。
- ③ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
 - ・中学生になるにあたり、生徒数も増えるので、人間関係づくりは重要ですが、大変難しいとも思います。集団だけでなく、個人にも目を向けていただいて、安心できる学校づくりをお願いします。
 - ・生徒も親も学校生活に喜びを共有しており、うれしいことです。学校での教室（授業）や部活、生徒会活動など、常に学年（上下関係）やクラスやチームでの連携が何よりです。
 - ☆安心して学校生活を過ごしていることがうかがえる。ただ、そう感じていない生徒もいるようなので、そのような生徒達のへの声変えやフォローが必要だと思う。
- ④ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
 - ・今の時代、SNS等、昔になかった問題も様々あります。学校だけ、家庭だけでは解決できないこともあると思いますので、しっかりと連携しながらやっていきたいです。
 - ・健康で安全に過ごしてほしいが、中1からスラホを持つ子もほとんどになり、大人から見ると、あぶなかしく見える場合がよくあります。家庭の中でも、学校でも意識改革がひとつだなと感じます。
 - ・生徒、家庭、学校、地域の連携がしつかりできている。
 - ・生徒、親共に食生活の大事さを理解しており、成長期における「栄養」を親が気配りすることは大事なことです。特に、近年コンビニ弁当やスーパーでの調理済みの食品が中心になっていると思いますが、食卓にはお母さんの手作りの一品でも並ぶと子供も自分で将来を考えたと感じています。
 - ・スラホ、SNSの扱いは、社会問題（犯罪）にもなりますので、親の関心、注意は必要です。

①～④について

☆5年度と比べると、生徒のA、B評価が下がっているのが気になる。ただし、目標指数には届いているが、若干低いだけなので、大きな問題はないと思われる。先生方の評価が高いのが良い。

評価内容 ＜確かな学び＞	☆学校の取り組みには、「努力や工夫」が見られ、且つ「成果」が上がっているか。
	評価
⑤ キャリアデザイン力の育成	
⑥ 3S学習を基本に「自ら学びとる授業」づくり（予習と振り返り）	3. 17
⑦ 3S学習を基本に「自ら学びとる授業」づくり（自己調整）	3・3・3・3・3・4 (6名 計19)
⑧ 3S学習を基本に「自ら学びとる授業」づくり（知識・技能）	
⑨ 自学力の育成	

- ⑤ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ・生徒は目標をもち、がんばっている。
- ☆この項目では、他の項目に比べて生徒、保護者共に評価が低い。
- ☆振り返りというワードをたまに聞いて、何となくイメージできますが、具体的な内容が分らず、折角していただいても、もったいないと思います。非常に大切な取組だと思うので、引き続き継続、また、情報発信もお願いします。
- ⑥ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ・自主的に学びを進める子と、苦手な子との差がどんどん広がっていくことが心配。マイペースでも、自分なりに前進できるような環境、目標をそれぞれ思い描けるような学習になると良いと思います。（⑨も同様）
 - ・保護者の評価が低いようだが、課程での予習時間が少ないからでしょうか。
 - ・生徒の方でも、16%が「思わない」と評価しているのは、授業内容が理解できないからでしょうか。
- ☆自分の子供が予習と振り返りを生かすことができていたかは、正直分かりません。かなり個人差があるように感じています。
- ☆5年度と比べると、この項目だけすべて低くなっている。予習の定義が明確でない中での取組自体に課題がある。
- ☆⑥、⑦、⑧を合わせて、保護者に生徒の学習のがんばりが、十分に伝わっていないのかも。あるいは、家庭学習の充実をさらに期待しているのかもしれないと感じた。
- ⑦ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ・最近になって、自分から何も言わずとも、勉強に取り組んでいるように感じる時があります。
- ☆⑦、⑧、⑨で、生徒、保護者、教員の三者間で達成度に差がある。
- ⑧ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ・生徒は工夫し、学習を勧めていることがわかる。
 - ・自主学習ノートを見せてもらうことがありましたが、始めた当初と比べて、内容、量とも格段に良くなってきたように思います。
 - ・⑧、⑨につて、保護者の評価が下がっている。保護者の新しい取組の理解が不足しているのではないかと思う。
- ⑨ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ・授業を見せてもらった時、タブレットなども利用した授業が多く、現在の教育を見ることができて良かったです。ただ、すべての保護者が見ていないと思うので、見てもらう場面を設定してもらった方が良いと思います。
 - ・生徒は学習を振り返り、自分で学習を勧めようと頑張っている。
 - ・生徒の評価が高いのが良い。デジタルコンテンツの活用が出ている。

評価内容 <ふるさとを愛し愛される学校>	☆学校の取り組みには、「努力や工夫」が見られ、且つ「成果」が上がっているか。
	評価
⑤ ふるさと教育の充実（愛着・貢献）	3. 33
⑥ ふるさと教育の充実（地域参加）	
⑦ ふるさと教育の充実（地域の方とのつながり）	4・3・3・3・3・4 (6名 計20)
⑧ 地域に根ざす活動の推進（発信・生徒理解）	

- ⑩ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ・縦割りの探究活動に参加し、横と縦のつながり、また様々なテーマに取り組むことによって、ふるさとと思う気持ちが大きくなってきたように思います。その内容を課程も含め、具体的に知れば、尚良かったと思います。
 - ・⑩～⑫、残念なことに少子高齢化がどんどん進み、コロナ禍もあり、地域交流（集会、行事）が失われ少なくなっています。自分たち住む「小浜市」であったり、「地区」の現状を知ったりする機会が少なくなっています。更に「車社会」は人と人の「顔合わせや挨拶」が無くなり、「つながり」が薄らいでいます。地域の行事も少なくなっており、生徒が参加する帰化もなくなっています。せめて、年1～2回でも、地域の行事、伝承行事に参加して盛り上げてほしいです。生徒たちに積極的に参加するよう啓蒙してください。
 - ☆⑩～⑬、生徒と保護者のとらえ方に（数値）差がある。
- ⑪ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ・地区の行事には参加していたが、ふるさと小浜に関わる活動が行えたかどうかは、子供の話の中では出ていなかったと思います。具体的な内容が分かれれば、（発信していただいたとは思いますが）こちらから聞くこともできたように思います。
 - ☆小学校に比べて、地域と一緒に活動する場が少ないので、保護者にとって、どのように地域と結びついているかが、分かりにくいのではないかと思う。
- ⑫ についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ☆課題にある通り、地域の方、先輩、後輩の定義が分かりづらく、質問に答えにくかったです。次年度は、明確にして取り組んでほしいです。
 - ☆夏休み期間を活用して、各地区のコミュニティーセンター（旧公民館）などと協力して地区の歴史（人、物、行事）や現状を勉強する機会を作ったかどうか。自分たちの生まれ育った地域に改めて愛着をもつてほしいと願います。
 - ☆二中校歌に歌われている「新しい若狹を起こす、担う、築く」言葉が何か実のないことばになっているように感じます。
- ⑬ ☆設問の意図がよく分からない。⑪だけではいいのではないかと思う。
- についての具体的記述（評価理由・改善への提言）
- ・自分の子供にトラブルがあった時に、きめ細やかに対応していただきました。ありがとうございました。
 - ・探究活動を通して、地域やふるさとを見直したり、地域の方々と活動したりしている様子がとても良かったです。
 - ・教員が生徒理解に努め、生徒とのよい信頼関係を築いている。
- ⑩～⑬について
- ・先生方の評価100%なのがうれしい。

※参考評価

評価内容		☆学校の取り組みには、「努力や工夫」が見られ、且つ「成果」が上がっているか。 評価
<教員の業務改善>		
時間外業務月60時間以上勤務者 常時プロジェクト	3. 60 3・4・4・3・4 (5名 計18)	

<教員の業務改善>についての具体的記述（評価理由・改善への提言）

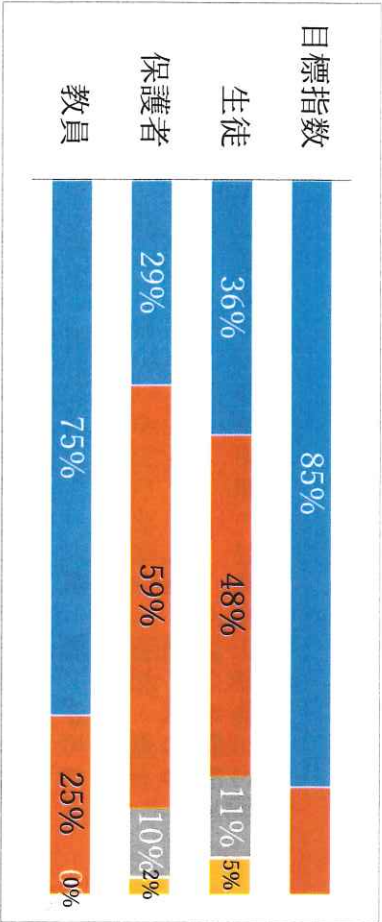
- ・ 誰もが働きやすい職場環境づくりに向けて、いろいろと工夫し、業務改善されている。
- ・ 校務DXの推進による業務の効率化をさらに進めてほしい。
- ・ 業務の効率化、意識改革で出ているように感じます。保護者の協力も、不可欠かと思うので、遠慮なく相談していただけたらと思います。

・ 教職員の長時間勤務が政治問題になって数年たっても難しい課題です。具体的項目で取り組みたいと思います。一人一人の働き方と業務に対する考えが一致しづらく、「解かっているけどやむを得ない」の現状かと思っています。他の企業でも、2024年問題として「法規制」が厳しくなっています。その為、人手不足（長時間業務制約、規則）に陥っています。「学校」は授業十部活動十翌日の授業準備や諸事務と多岐であり、業務分担も難しいと思います。併せて勤務時間だけでなく、精神的な苦痛、悩みなども健康面についてもお互いに気配り、協力体制をつくってほしいです。生徒達に明るい元気な声かけと授業をされるようお願いします。

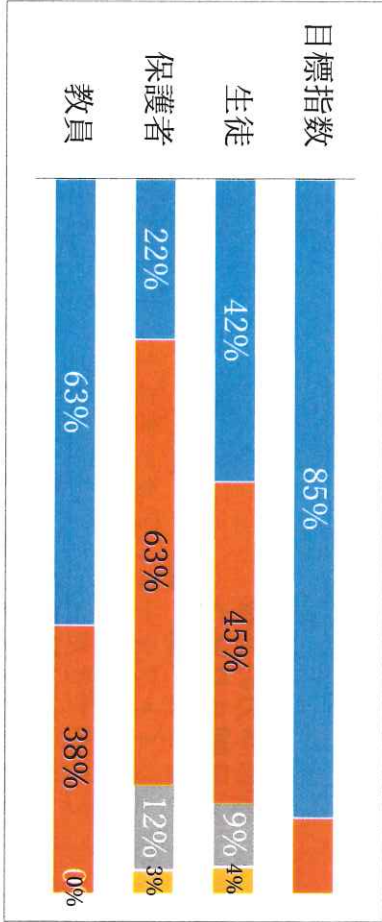
私も郵便局に在職中（43年余り）、長い間労働組合の仕事に関わってきました。いつの時も「元気に働ける職場」と「長時間労働＝超勤処理」を求めて来ました。人の生命（病気、自死）を大事にする職場づくりがいつも頭にありました。

学校評価アンケート (最終結果) 報告

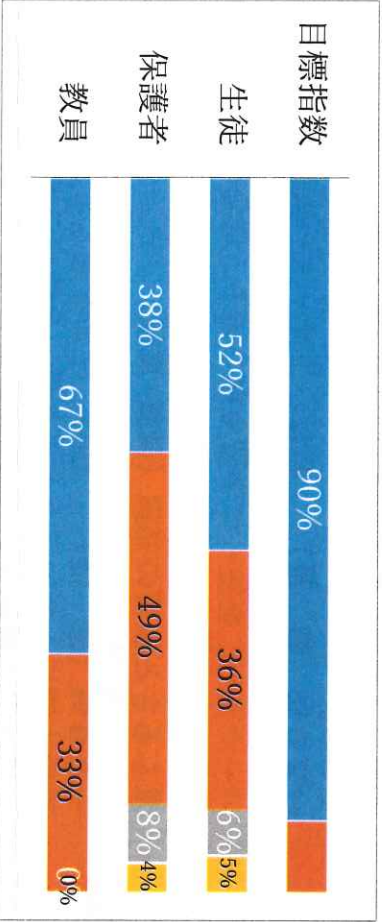
※ グラフは、質問項目に対する回答者数の割合を表示している。 D : そう思わない
A : そう思う B : 大体そう思う C : あまりそう思わない
※ →○%の表示は、A + Bの全体に占める割合 (回答のあったものに対する割合) <小数点以下は四捨五入>



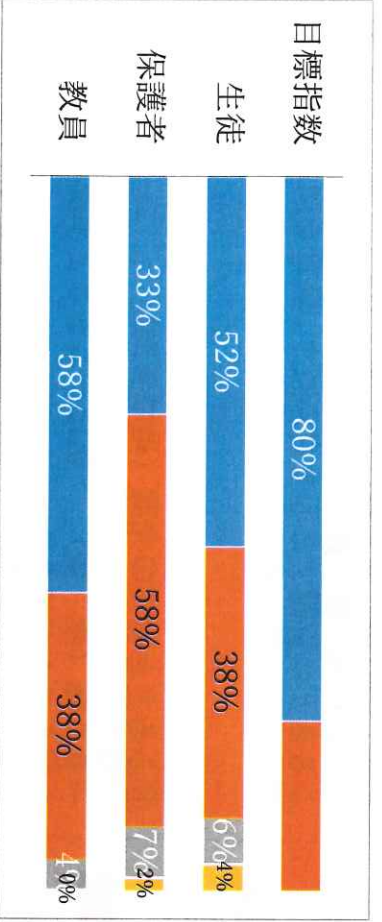
①未来を創る活動の推進 (自分・学校づくり)
＜目標85%＞
→84% (生徒) : 私は、生徒会や学年・学級で、自分や自分の周囲をよりよくしたいと努力できた。
→88% (保護者) : 我が子は、自分や自分の周囲をよりよくしたいと努力している。
→100% (教員) : 私は、生徒会や学年・学級で、自己を見つめたり学校づくりを行ったりする機会を設け、生徒一人一人の力を引き出す工夫に努めた。



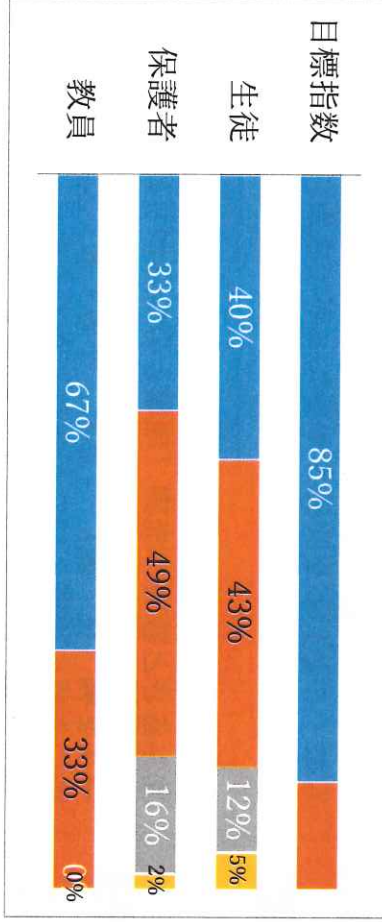
②未来を創る活動の推進 (二中魂を磨く)
＜目標85%＞
→87% (生徒) : 私は、学校生活で学んだことを大切に、二中魂 (向上・つながり・勤労) を磨こうとした。
→85% (保護者) : 我が子は、学校生活で学んだことを大切に、二中魂 (向上・つながり・勤労) を磨こうとしている。
→100% (教員) : 私は、学校生活において、二中魂 (向上・つながり・勤労) を磨く取組を工夫できた。



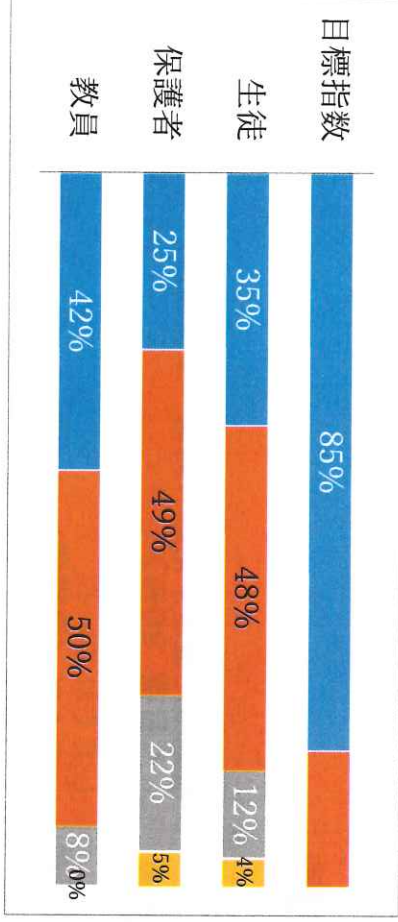
③認め合い・高め合える集団づくり
＜目標90%＞
→89% (生徒) : 私は、安心して学校生活を過ごしている。
→87% (保護者) : 我が子は、安心して学校に通っている。
→100% (教員) : 私は、生徒が安心して気持ち良く過ごせる学校・学級・部活になるよう工夫することができた。



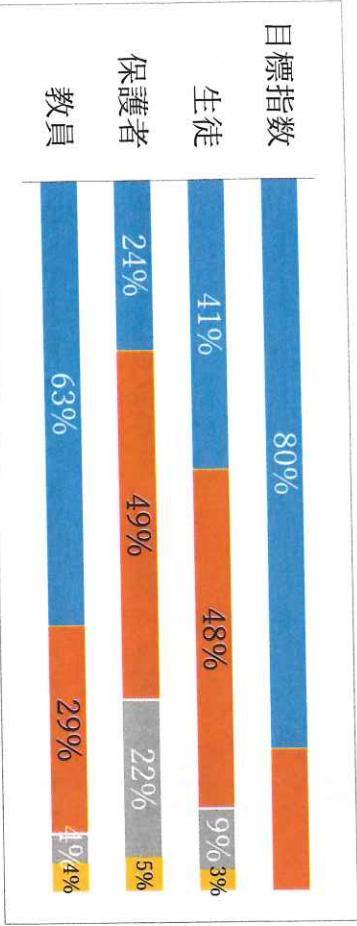
④家庭・地域との連携と充実
＜目標80%＞
→90% (生徒) : 私は、健康で安全な生活を心がけた。
→91% (保護者) : 我が子は、健康で安全な生活を心がけていた。
→96% (教員) : 私は、家庭等と連携しながら、健康で安全な生活ができるよう働きかけることができた。



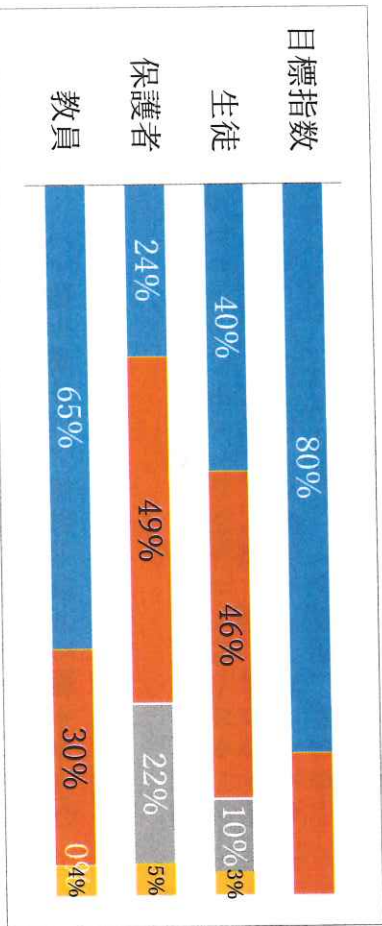
⑤キャリアデザイン力の育成
＜目標85%＞
→83% (生徒) : 私は、振り返りを生かして少し先の自分の目標を持つことができた。
→82% (保護者) : 我が子は、学校生活 (行事や学習など) を振り返り、次の目標を持つことができるようになってきている。
→100% (教員) : 私は、生徒が振り返りを生かして自分の今後の姿について考え、目標を持てるような取組を計画的に行うことができた。



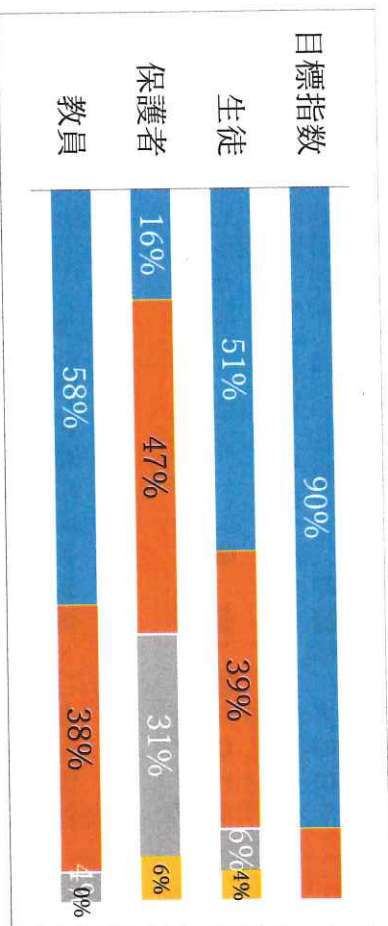
⑥3S学習を基本に「自ら学びとる授業」づくり
＜目標85%＞
→83% (生徒) : 私は振り返りや予習を充実させ、次の授業や他の教科の学びに生かすことができた。(生かす : 説明、質問、話し合い、教え合い、ノートタラシットまとめ、思考活動)
→74% (保護者) : 我が子は教科や探究の授業を自ら進んで学習するよう心がけていた。
→92% (教員) : 私は振り返りや予習を充実させ、次の授業や他の教科に生かす場を工夫することができた。



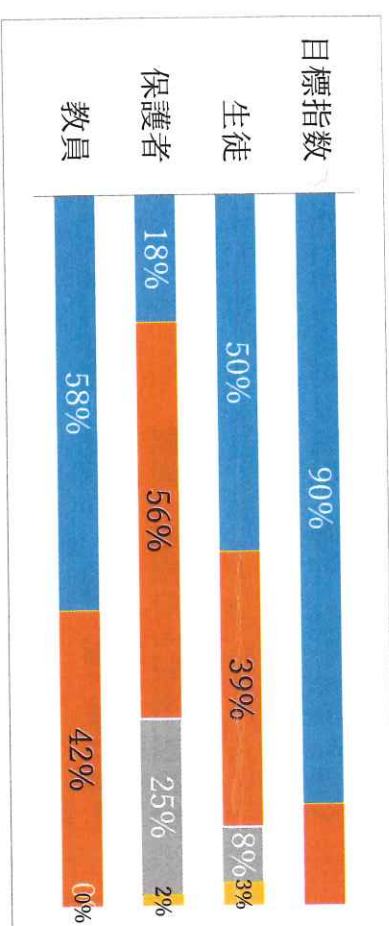
- ⑦3S学習を基本に「自ら学びとる授業」づくり
 (自己調整)
 <目標80%>
 →89% (生徒) : 私は、授業で身につけた自己調整力を他の授業や活動で発揮し、授業や活動を楽しむことができた。
 →73% (保護者) : ⑥と同じ。
 →92% (教員) : 私は教科を身につけた自己調整力を、他の場面で発揮する場を工夫することができた。



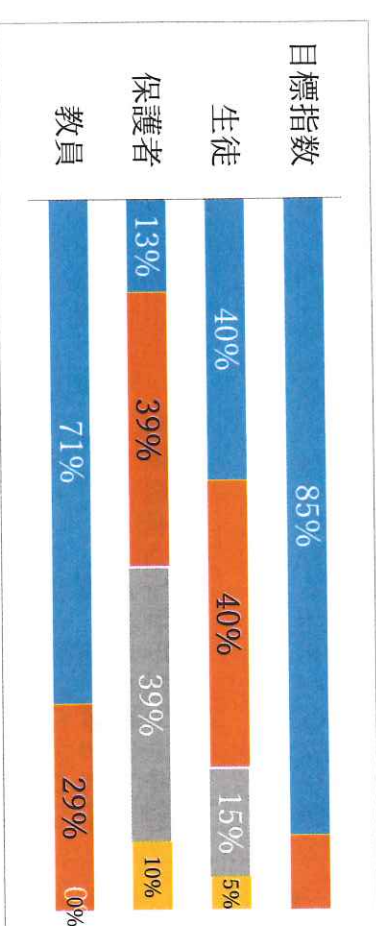
- ⑧3S学習を基本に「自ら学びとる授業」づくり
 (知識・技能)
 <目標80%>
 →86% (生徒) : 私は学習の仕方を工夫し、楽しく「知識・技能」を身につけることができた。
 →73% (保護者) : ⑥と同じ。
 →95% (教員) : 私は「知識・技能」の定着を図るために、授業において多様な学び方を提示し、生徒に選択させたり活用させたりすることができた。



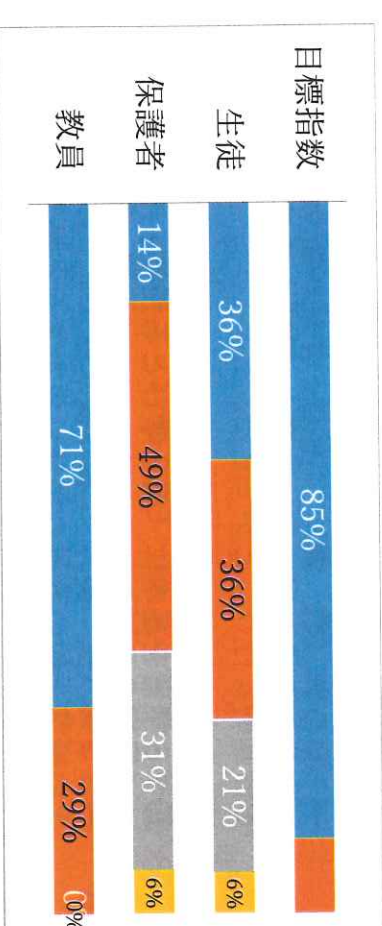
- ⑨自学力の育成
 <目標90%>
 →90% (生徒) : 私は、デジタルコンテンツ（レギュレイトフォーム、フオーサイト、ドリルパークなど）を使って学習を振り返り、自分の力で学習を進めようとしたことができた。
 →63% (保護者) : 我が子は、デジタルコンテンツ（レギュレイトフォーム、フオーサイト、ドリルパークなど）を使って学習を振り返り、自分の力で学習を進めている。
 →96% (教員) : 私は、生徒一人一人にデジタルコンテンツ（レギュレイトフォーム、フオーサイト、ドリルパークなど）を使って学習を振り返り、自分の力で学習を進めるよう働きかけた。



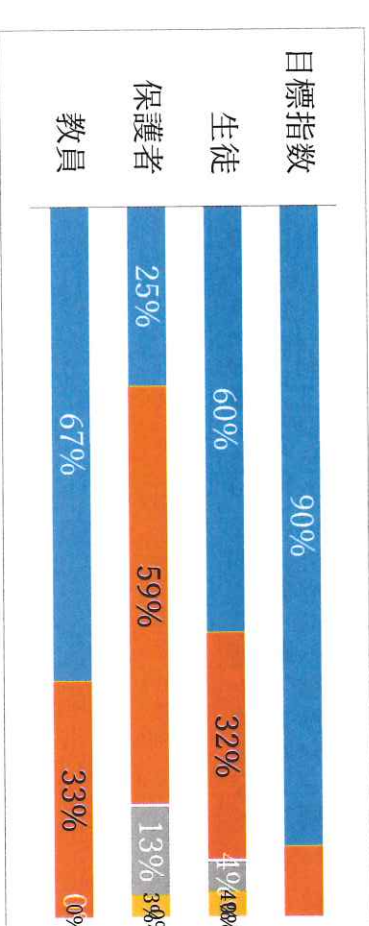
- ⑩ふるさと教育の充実 (愛着・貢献)
 <目標90%>
 →89% (生徒) : 私は、学習を通して、ふるさと小浜を大切にしたいと思うことができた。
 →74% (保護者) : 我が子は、ふるさと小浜への思いをもつことができています。
 →100% (教員) : 私は、キャリア教育と連動させ、ふるさとに貢献する心を育んだり、愛着を深めたりする学習の工夫に努めることができた。



- ⑪ふるさと教育の充実 (地域参加)
 <目標85%>
 →80% (生徒) : 私は、ふるさと小浜に関わる活動を行うことができた。
 →52% (保護者) : 我が子は、ふるさと小浜に関わる活動に参加した。
 →100% (教員) : 私は、積極的に生徒と地域の「人・もの・こと」とを交流させることができた。



- ⑫ふるさと教育の充実 (地域とのつながり)
 <目標85%>
 →72% (生徒) : 私は、学習を通して、ふるさと小浜の先輩や後輩とつながることができた。
 →63% (保護者) : 我が子は、学習を通して、ふるさと小浜の先輩や後輩とつながることができている。
 →100% (教員) : ⑪と同じ。



- ⑬地域に根ざす活動 (発信・生徒理解)
 <目標90%>
 →92% (生徒) : 先生は、私のことを思って、支援してくれている。
 →84% (保護者) : 学校は、日々の子供たちの様子や学校の思い、考えを積極的に発信しており、我が子のためを思って家庭と連携している。
 →100% (教員) : 私は、生徒、保護者に担任や学校の思い、考えが伝わるように丁寧に対応、発信することができた。